

広島県内の中山間地域島しょ部で学生が体験し学びを深める！ 広島大学生物生産学部は地域志向の授業を地域や行政と共に造り上げ、地方創生につなげます。

### 1.発表の概要

広島大学生物生産学部は、広島県内の中山間地域や島しょ部の地方創生という課題に対応し、地域や市町行政と連携して「地域連携から地方創生へ」を共通のテーマとして地（知）の拠点の形成に取り組んでいます。

今回は、この第1ステップとなるプログラムで、学生が1年生の段階から地域で学び体験する地域志向の授業を実施します。この授業は、広島県内10地域（7市町）の現地において、5月23日～7月4日の各土・日曜日に実施します。

### 2.発表の内容

(1) 大学入学後の1年生の段階で、地域で学ぶおもしろさや楽しさを体験的に理解できる授業を行い、地域貢献につながる学生の知的活動への動機付けを行います。

(2) 広島県内の地域の秀でた取り組みや活動を学生が学び体験することを基本とし、主に現地の方々による講義と直接の指導による1日の現場体験授業を行います。

(3) 授業は別添資料の5月から7月のいずれかの土曜日に学生約10名のグループが地域に出かけて体験学習を行い、その後全体10グループの報告会（7月1日と22日）の開催などを通じて現場の知識や地域の課題などを学び、地域への関心と地域活動へのモチベーションを高めます。

(4) 大学と連携してこの授業を実施していただく地域や組織は次ページの通りです。

なお、日程、場所、講義、体験作業等の詳細は、別紙をご覧ください。

(5) 平成26年度の取り組み状況は、別添パンフレットをご覧ください。

### 3.今後の展開等

このプログラムは、地域のために自ら考え主体的に行動できる学生の養成を通じて地方創生を目指す文部科学省の地（知）の拠点の一環として実施します。

今後、地域へのインターンシップ等のプログラムを併せて実施し、地域に学び貢献する人材育成の充実を図り、地域が期待する地方創生につなげていきます。

#### 【お問い合わせ先】

大学院生物圏科学研究科 地域連携室 コーディネータ 大泉賢吾

Tel : 082-424-7905 FAX : 082-424-6480

E-mail : [sei-chiiki@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:sei-chiiki@office.hiroshima-u.ac.jp)

**地方創生と地の拠点に関するワークショップを宮城県議会地方創生調査特別委員会と広島大学生物生産学部が共同して、5月27日（水）に開催します。**

### 1.発表の概要

広島大学生物生産学部は、広島県内の市町と連携して地（知）の拠点の活動による中山間地域や島しょ部の地方創生という課題に取り組んでいます。

地方議会においても、地方創生は喫緊の課題となっていることから、広島大学生物生産学部の地（知）の拠点活動を、宮城県議会議員（地方創生調査特別委員会委員）の皆様が5月27日（水）午後1：15から視察いただくこととなりました。

本学からの提案で「一地方創生において、地域と大学はどう連携するか」のワークショップを視察の中心にすることになり、宮城県議、県内市町職員、県内企業、本学教職員と学生が議論を行い、地方創生の課題に共に立ち向かうことになりました。

### 2.発表の内容

(1) 視察の具体的日程・テーマは以下の通りです。

①日程：平成27年5月27日午後1時15分～3時15分（WS含む）

場所：広島大学生物生産学部 1F 第1会議室

②テーマ：地（知）の拠点整備事業における中山間地や島しょ部の課題解決に向けた地域連携による人材育成について

(2) ワークショップのテーマ等

①テーマ：一地方創生において、地域と大学はどう連携するかー  
農林水産業と農山漁村の場合

②構成：参加者が2グループ分かれて議論（1グループ拾数名）

(3)参加者（約40名）

宮城県議会議員8名、宮城県庁震災復興・企画部次長、宮城県議会事務局  
市町職員（広島大学連携先）、地元企業、広島大学教職員、広島大学院生・学生

### 3.今後の展開等

今回のワークショップ等を通じて、地方創生・地の拠点・人材育成等について宮城県議会や宮城県と本学との連携が一層進められるよう検討していきます。

#### 【お問い合わせ先】

大学院生物圏科学研究科 地域連携室 コーディネータ 大泉賢吾

Tel：082-424-7905 FAX：082-424-6480

E-mail：sei-chiiki@office.hiroshima-u.ac.jp



「地方創生の原動力、持続可能な地域志向型教育」をテーマに、地（知）の拠点円卓フォーラムを開催し、地方創生に結びつく人材育成について地域と大学が議論します。

## 1.円卓フォーラムの概要

広島大学が取り組んでいる「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」では、広島県の中山間地域・島しょ部の優れた活動を行っている地域や自治体と強く連携し、大学による地方創生への貢献と参画をめざしています。

この円卓フォーラムでは、本学地（知）の拠点の2年間の活動を通じて得られた地域志向型教育の成果と課題について報告するとともに、体験授業、特別講座、インターンシップ、地域課題研究等を通じて、地方創生活動に結び付く大学での人材育成について検討します。

## 2.円卓フォーラムの内容

(1) 円卓フォーラムの開催日時は、次の通りです。

日時：2015年7月22日（水） 14:35—17:30

場所：広島大学 生物生産学部 C206教室

構成：第1部 学生と地域とのエール交換

第2部 地方創生の原動力、持続可能な地域志向型教育

(2) 円卓フォーラムで議論する課題は、次のように設定しています。

- ◆学生と教員は、地域志向型教育の成果と課題をどう考えているか
- ◆受入地域と市町からみた地域志向型教育が抱える課題
- ◆2年間の地（知）の拠点活動が地域に与えたインパクト
- ◆インターンシップ、地域課題研究、ボランティア活動等への期待
- ◆地方創生活動に結び付く大学での人材育成のあり方

(3) 参集者は、連携自治体、地域、地域の講師、本学学生・教職員で、150名余の参加を見込んでいます。一般の方々も是非ご参加ください。

(4) 開催案内等は添付資料のとおりです。

### 【お問い合わせ先】

広島大学大学院生物圏科学研究科 地域連携室 コーディネータ 大泉賢吾

Tel : 082-424-7905 FAX : 082-424-2037

E-mail : [sei-chiiki@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:sei-chiiki@office.hiroshima-u.ac.jp)

## 広島大学は地方創生を担う人材育成インターンシップを開始します！

### 1.発表の概要

広島大学生物生産学部は、広島県内の行政・地域等と連携して、学生が自身の将来に関連のある地域活動を行い、地域に貢献する地域志向型人材を育成する中山間地域島しょ部連携インターンシップを8月17日（月）から開始します。

### 2.発表の内容

(1) インターンシップを通じて広島県内の地域の秀でた取り組みや活動を学生が主体的に学び、少しでも中山間地域島しょ部に貢献できる活動を学生が展開することを基本にし、地域志向型人材の育成にもつなげようとするものです。

(2) 全体の実施期間は8月17日（月）から9月30日（水）で、生物生産学部の学生を中心に28名の学生が参加し、3日から6日間地域に泊まり込んで活動を行います。

なお、インターシップの実施市町・地域は次ページの通りです。

(3) このインターンシップは、「地域連携から地方創生へ」を共通のテーマとして広島大学生物生産学部が展開している地（知）の拠点活動の一環です。

#### 【お問い合わせ先】

大学院生物圏科学研究科 地域連携室 コーディネータ 大泉賢吾

Tel : 082-424-7905 FAX : 082-424-6480

E-mail : sei-chiiki@office.hiroshima-u.ac.jp